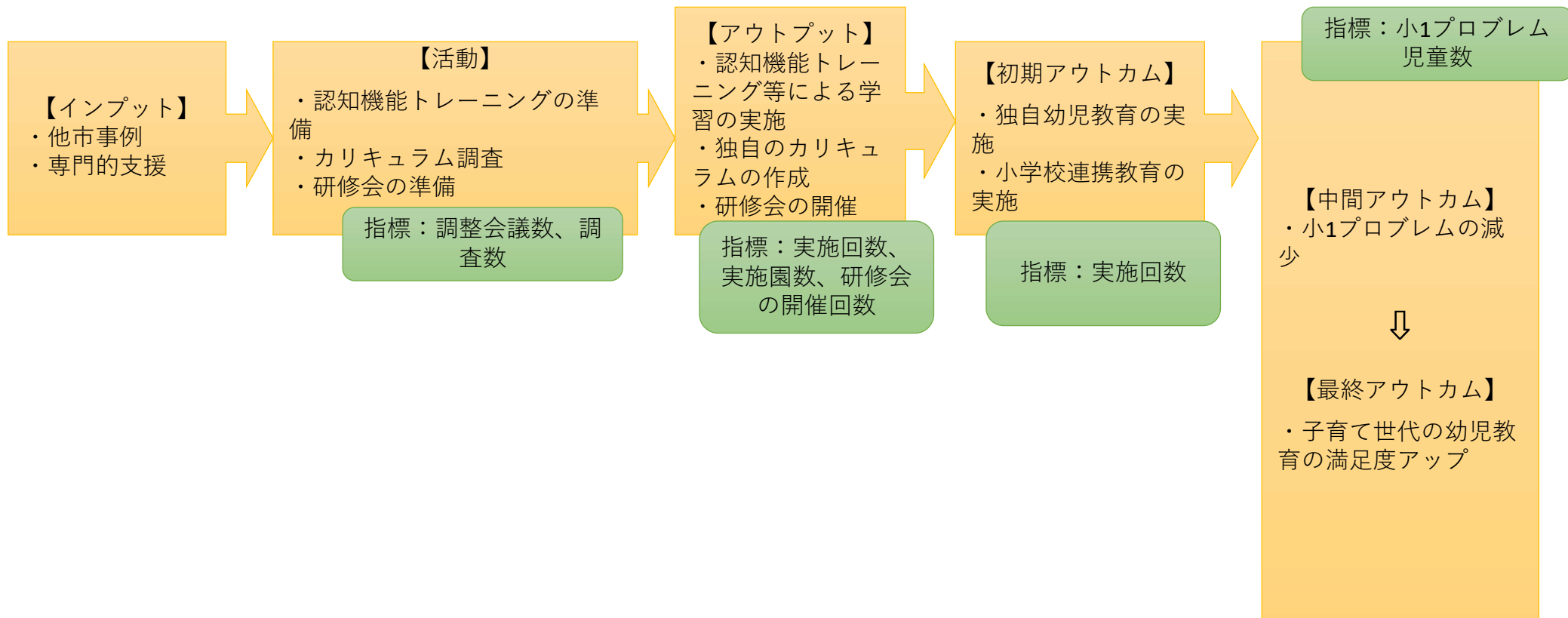


【R7年度】重点目標の取組・概要（幼児教育の充実・幼小連携の促進[教職員研修・育成事業]）

担当課（内線）	学校教育課 堀端（5618）	重点目標の方向性	子どもの保育・教育環境の向上
重点目標	子育てしやすい岸和田の実現	行政の役割	データを利活用するなど、子ども一人ひとりにきめ細やかな指導を行い、基礎学力の向上を図る
現状と課題		課題に対する取組の内容（めざす成果・期間・対象者・手法など）	
<ul style="list-style-type: none"> 各園で小規模化が進んでいる（少子化・保育ニーズの多様化→公立では3歳児保育、長時間保育、給食提供等） 1園当たり（正規）教職員の数が減り業務負担が増えている。（教材研究、職員会議にかける時間の減少） 幼稚園におけるICT化が進んでいない 各校園での幼小交流は進んでいるが、資質・能力をつなぐカリキュラム編成までには至っていない。 		<p>【中期的(4~5年後)にめざす成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児の育ちを巡るめまぐるしい環境の変化等に対応しながら、質の高い幼児教育 保護者、関係機関・部局と連携した切れ目ない支援 保幼小接続カリキュラムの必要性について理解を図り、その取組の充実（施設類型を超えて、つながる） ICTによる教職員研修、子ども同士の交流、幼児の体験の補完、拡充、保護者との情報共有が向上、連絡の正確性が向上（教職員間、保護者へ） <p>【成果に向けての各年度の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> (R5) 助言体制による園内研修の充実 (R6) 研修体系の整備と研修内容の充実 (R7) 保育者間、幼稚園・保育所・認定こども園の相互連携の促進 <p>【R7年度の取組内容（期間・対象者・手法など）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園支援コーディネーター、幼児教育アドバイザーからの指導助言（各園・通年・各園の実態に応じたアドバイス） 幼保こ小の開発会議（岸和田市幼保こ小つながる会議）・合同研修会開催 	
R7年度の事業費（内訳）			
<p>学校教育課</p> <p>（報償費）幼小教育の連携を考える委員会 講師謝礼 20,000円</p> <p>幼保こ小つながる会議研修会 講師謝礼 20,000円</p> <p>（消耗品費）幼小教育の連携を考える委員会 消耗品 13,000円</p> <p>学校管理課</p> <p>ルーター使用でWi-Fi環境を設置、SIMカード対応</p>			
R8年度以降の想定事業費（ランニング経費）	取組の進捗・成果を測る指標	成果・指標が未達成の場合の取扱い	
<ul style="list-style-type: none"> 幼保こ小つながる会議 研修費 20,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した活動の事例 3園（2023）→21園（2024）全園 認知機能強化取組の実施園数 2園（2021）→5園（2022）→13園（2023） →21園（2024）全園実施 岸和田市の幼児教育・小学校教育の接続カリキュラムの編成 →令和6年度中に完成、令和7年度に市内就学前施設及び小学校へ周知する予定 	<p>幼児教育の質の向上（ICT化も含む）、保幼小連携国の動向としてやるべきことであるため、なし</p>	

【R7年度】重点目標の取組・ロジックモデル（幼児教育の充実・幼小連携の促進）

ロジックモデル【事業立案時点】



財源	他団体の状況	その他（行政サービスとしての適正性について など）

【R7年度】重点目標の取組・評価シート①（幼児教育の充実・幼小連携の促進[教職員研修・育成事業]）

■ 中期的にめざす成果に対する達成度

おおむね
達成

- ・ 幼児の育ちを巡るめまぐるしい環境の変化等に対応しながら、質の高い幼児教育
- ・ 保護者、関係機関・部局と連携した切れ目ない支援
- ・ 保幼小接続カリキュラムの必要性について理解を図り、その取組の充実（施設類型を超えて、つながる）
- ・ ICTによる教職員研修、子ども同士の交流、幼児の体験の補完、拡充、保護者との情報共有が向上、連絡の正確性が向上（教職員間、保護者へ）

■ R7年度において実施・実現できたこと

- ・ 公民の幼児教育施設 合同での幼児教育研修実施
【7月 校園長研修会と幼保こつながる会議の合同研修会】
- 【8月 幼小教育の連携を考える委員会と幼保こつながる会議の合同研修会】
- 【7月、11月実施、幼稚園教員研修会】
- 【12月 市内幼児教育アドバイザー研修会】
- ・ 幼保こつながる会の開催 実施
【7月、10月、1月】
- ・ 泉南地区・大阪府幼児教育アドバイザーがつながる会議 年間3回

■ R7年度における達成度（当初の実施予定に対する達成度）

一部
達成

- ・ 保育者間、幼稚園・保育所・認定こども園の相互連携の促進

■ 主な「取組の進捗・成果を測る指標」の状況

測定有無	指標名	単位	基準値（年次）	目標値（年次）	R7年度実績値
○	ICTを活用した活動の事例	園	3（2023）	21（2024）	19(2025)※1園閉園 1園休園
○	認知機能強化取組の実施園数	園	2（2021）	21（2024）	19(2025) ※1園閉園 1園休園
○	岸和田市の幼児教育・小学校教育の接続カリキュラムに沿った取組の実施園	園		16（2026）	10(2025)

■ R7年度において実施・実現できなかったこと

- 保育者間、幼稚園・保育所・認定こども園の相互連携の促進という点で、施設類型を超えて学び合えるような研修を計画し、各施設へ周知したが、保育所や民間園からの参加は少なく、相互理解にはまだ時間を要する。
- 幼児教育アドバイザーからの通年、各園に応じた指導助言は実施できなかった。



■ 課題分析

- 研修時間の設定と意識。
- 園を積極的にリードしながら活躍しているが、単学級園が増え、指導助言する機会が少ない。



■ ロジックモデルの振り返り

- 既存の研修会に、保育所や民間園を巻き込みながら研修や情報交換の機会を増やす工夫をしている。参加者は、研修を通して、教育の相互理解、こども理解などの点で学びがあった。参加者を増やす工夫をしながら、定着していけるように、今後も取り組んでいきたい。



■ 次年度以降の予定・改善内容

- 「岸和田市幼保こ小接続カリキュラム」を市内就学全施設及び小学校で活用。各学校園所でブラッシュアップしていく。
- 民間園や保育所も含めた、幼保こ小連携のための体制づくりを整える。
- 市内全域への展開に向けて、組織的な交流、保育・授業参観の機会を大切に、施設類型をこえた教育間交流が各地域ごとで主体的に展開されていくよう市として支援していく。
（学校園行事予定の情報提供を行い、相互参観の橋渡しを行う。）
- 研修内容の検討、早めの案内送付。